



とうま明男の「県政人語」Vol.11

神奈川県議会議員(無所属) 2016年 (通算51号)

東京五輪で、膨らむ期待と潜む不安要素！

準備の遅れが心配されたりオ五輪も無事に開幕され、数々の感動を与え無事に閉幕しました。日本選手団はオリンピックで41個、パラリンピックで24個と、過去最高のメダルを獲得し、日本に新たな感動をプレゼントしてくれました。

いよいよ4年後は東京で、更なる感動を再び！

半世紀以上前の1964年に行われた「東京オリンピック」が、4年後の2020年に、再び東京で56年ぶりの開催が決まっています。

神奈川県でも、既に江の島での「セーリング競技」が決定しています。

「セーリング競技」が決定しています。またこの他にも、「野球・ソフトボール・サッカー他」様々な競技の県内開催が検討されているようです。

4年後と言っても、すぐに時間は経ってしまいます。

神奈川県でも決定している「セーリング競技」の準備のため、江の島大橋の改修工事の設計費や、現在江の島に置いてある船艇の一時保管場所となる葉山港の改修設計費等が議会に提案され、10月14日の県議会本会議で可決されました。

東京都と組織委員会・IOCとの調整の行方は？

半世紀ぶりの五輪に夢は膨らみますが、不安がない訳ではありません。

小池新都知事の誕生により、着手された都政改革からの様々な指摘の中で、オリンピックの費用も見直しの対象になっています。また、組織委員会やIOCとの見解が違ってきており、今までは神



東京オリンピックでセーリング競技が行われる予定の江の島

奈川県の負担は少ないとされていますが、今後の協議の行方が不安です。

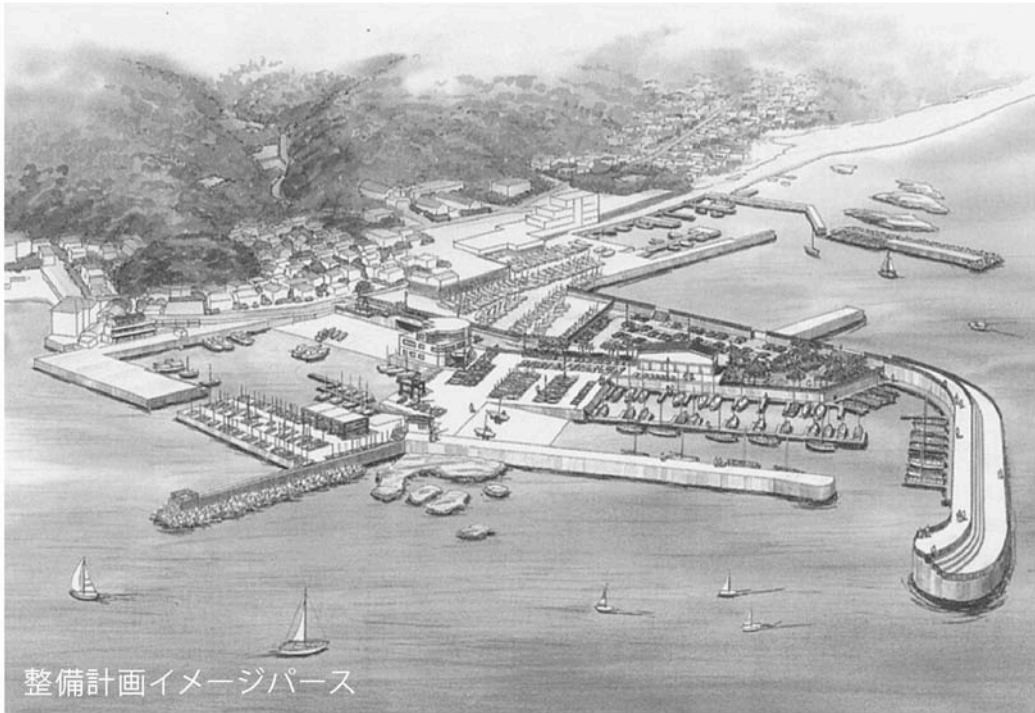
神奈川県では共生社会実現の憲章を制定、これを契機にできればパラリンピックをわが県で

津久井やまゆり園の、二度とあってはならない事件を風化させないための憲章を制定しました。

県のやる気を示すために、チャンスがあればパラリンの開催地に手を挙げると、大きなアピールになるでしょう。

みなさんご存知ですか？シリーズ(11)

葉山港再整備計画



整備計画イメージパース



葉山港を視察



現在の葉山港

とうま明男「議会活動のダイジェスト」

県議会 教育・スポーツ振興特別委員会

2016年10月4日(質疑ダイジェスト)

とうま 「葉山港の設計費が提案されたが、工事費も決まっているのか？」

行政 「決まっていない、いまいろいろ検討している」

とうま 「五輪は重要だが、1～2週間程度だ、港は県民の恒久財産だ、利用者の意見も考慮した使い勝手の良い整備を望む」

とうま 「観客の宿泊施設不足を心配する声があるが、リオ五輪では、米国バスケットチームが、客船を宿泊施設に使い、男女ともに金メダル獲得と聞いている。神奈川県でも客船の活用を考えたらどうか？」

行政 「客船から会場までの船が無いので無理だろう」

とうま 「県費を使い知事はじめ担当者がリオに視察にいったのだから、セーリング競技関係以外も、しっかりと検証して、対策してもらいたい」

とうま 「セーリング競技の江の島会場の観客席が5000人分の整備となっているが、リオに視察に行って何人の観客がいたのか？」

行政 「1000人程度と思う、浜辺が観客席なので江の島とは異なる、5000人は協会の要望です」

とうま 「セーリングは認知度が低いと言われている。客船利用などで、競技を超えた話題提供で、セーリング競技が盛り上がることを願います。

最後に、江の島会場の漁業権保証や仮設整備については、組織委員会が負担することになっているが、それは変わらないのか？」

行政 「約束通りに組織委員会に負担をしてもらいます」

とうま 「県民の新たな負担にならないように、開催成功に向けて、一層の検証と工夫をお願いします」